



# 防犯情報



## スマホのビデオ通話や画面共有機能を悪用する詐欺に注意！

全国的にインターネットバンキングを悪用した詐欺事案が増加傾向にあり、県内でも、スマホに「画面共有アプリ」や「遠隔操作アプリ」をインストールさせられる事例や、「LINEのビデオ通話機能」を利用して「警察手帳」や「逮捕状」などを見せて不安を煽り、「預金を調べる」などの名目で現金を振り込ませる事例を確認しています。

他県では、LINEの画面共有機能を利用して被害者にスマホを操作させて口座開設させ、その口座に現金を振り込ませて犯人がだまし取る事例も確認されていますので、注意してください！

### LINEの画面共有機能の悪用事例

- ① 警察官等をかたり、犯人のLINEを登録させる。
- ② 警察官役が、被害者に  
「犯罪関与の疑いがあり、預金を調べる」  
「インターネットバンキング (IB) 付き口座の作り方が分からないなら私が教える」  
などと言い、LINEのビデオ通話を行いながら、「画面シェア」のボタンをタップさせて、被害者のスマホ画面を共有しながら、被害者に指示をして口座開設させる。
- ③ 開設した口座に、被害者が現金を振り込み、犯人がIBを利用して、振り込まれた現金をだまし取る。



警察官がLINEなどのSNSやアプリをダウンロードさせて取り調べをしたり、振り込みを要求することはありません！

LINEは多くの方が利用されています。LINEやフー社でもホームページで被害防止対策などを紹介していますので、是非ご覧ください。



LINE社  
HPはこち  
らから閲覧  
できます！

